

サポート通信

令和4年12月7日発行



広島市立広島特別支援学校

発行者 広島市立広島特別支援学校地域支援部

広島市南区出島4丁目1-1 TEL 代表 (082)250-

VOL.32

サポートセンターより

主体的に「読む＝情報を得る」ためのプロセスは十人十色

読み困難のある子どもたちが自立した読み手になっていくためのプロセスや要点をまとめました。

◆ まずは代読【大人による読み聞かせを聞いて内容をつかむ】

- ・ すぐにできる。理解しやすいように大人が読み方を調整できる。

◆ 子どもが読む主体となり自ら工夫して読む【ICT 機器や代読の活用】

<録音図書>…朗読を聞いて読む

- ・ 『PIBO 読み放題』…1日3冊まで無料で聴ける絵本の読み聞かせアプリ
- ・ 『デイジー子どもゆめ文庫』…推薦図書などを電子書籍化したもの。アプリは入れなくても、学校のタブレットでもネットにつながればアクセス可能。(申請は必要)

※ DAISY (デイジー) とは digital accessible information system アクセシブルな電子書籍の国際標準規格のこと

- ・ 『サピエ』…10万タイトルの“音声”データ (ボイスデータ-5 : iOS 専用アプリ使用)

<電子書籍>…音声読み上げで読む

- ・ 『Kindle』…iPad の「設定」→「アクセシビリティ」→「読み上げコンテンツ」→「画面の読み上げ」を利用して聞く。AI スピーカーにつないで読み上げさせることもできる。

<テスト等での読み上げ>…人による代読や ICT 機器による読み上げで読む

- ・ 読み上げをコントロールするのは子ども。事前に読み上げに関するルールを決めておく。
 - ・ テストデータを提供し、子ども自身が読みやすい形式に調整できるようにする。
- ※ 今後詳しく紹介する予定です。

◆ 読み上げだけでは十分ではないところはフォローする

- ・ 学習のための語彙…教科書に出てくる用語は、絵や図、例を示すなどして理解し易くする。
- ・ 図表の読み取り…図表の文字を読み上げ、読み取り方を教える。振り仮名も必要。

初めて「録音図書」で児童文学を読んで楽しめた子がいます。また、ウェブ検索では「やはり文字より画像や動画が理解しやすい。」という当事者の声も聞きます。分かりやすさは十人十色。みんなと方法が違って、自分に合った方法を認め合える環境が求められているように思います。

おすすめ ドキュメンタリー映画 「マイ・ビューティフル・スタッター」

吃音によって差別やいじめを経験してきた彼らが、吃音のある他の子どもたちと出会う。「吃音があっても大丈夫」という考えに触れることで、異なる背景をもつ子どもたちに驚くべき変化が起こる。

映画を視聴し、身近な人と語り合ってみませんか。

吃音とは…言いたいことが頭に浮かんでいるのに、その言葉がスムーズに出せない症状。吃音のある人の割合は 100 人に 1 人とされています。

配信日：12月26日(月) 10:00~11:40 (zoom でのオンライン上映)

申込方法：各校宛「広島県難聴・言語障害教育研究会研修会のご案内」を参照。

五日市東小(中村教諭)宛に e-mail で所属、名前、連絡先を記載の上、お申込みください。



研修会 報告1

サポートセンター研修会

8月8日(月)の夏季サポートセンター研修は、「子どもを理解し支援につなげるWISC-IVの活用について」というテーマで、市立学校の先生方を対象に行いました。前半は、「検査の概要を知ろう」という内容で、4つのカテゴリーからなる検査を実際に体験しながら、検査の内容と検査のもつ意味合いについて理解を深めました。参加された先生方からは、「どのような検査があるのか、何のためにあるのか、などが分かってよかった。」「WISC-IVの結果が学校に伝えられていても、見方が分からず活用できていなかったが、それぞれの指標の意味や数値の捉え方、指標間の数値のばらつきによる傾向などを学習できとても参考になった。」「今後の適切な支援について考えていきたい。」など、という感想をいただきました。後半は、「プロフィールを理解し、支援につなげよう」という内容で、プロフィールの読み取りや、具体的な支援についてグループに分かれて話し合いました。どのグループも積極的に意見を出し合い、プロフィールから読み取れる子どもの強みを基に支援を考えられている様子が印象的でした。支援方法を交流する中で、「いろいろな意見を伺うことができ、とても参考になった。」「検査以外の子どもの実態からも、支援のヒントはたくさんあると感じた。合わせて、数値をもとにどのような支援が必要なのか実際に考えることができた。」「検査結果



だけを重視するのではなく、行動観察や聞き取りなどを合わせて考え、支援を決定すべきだと思った。」など、前向きな感想を多くいただき、大変有意義な研修となりました。

☆ 必要な情報を聞き取るための支援

- ・ 注意をひきつける
- ・ 指示を短く、1つずつ
- ・ 文字にする、メモ
- ・ 「これからこの話をしよう」
- ・ 話のあと確認
- ・ 板書に残す、ポイントをかき出す
- ・ 友達とのかわりをいやす
- ・ 友達に教えてもらう

☆ 書くことへの支援

- ・ タブレットの活用 (ノートアプリ、タイピング)
- ・ 板書をざっせい → 活用
- ・ マス目をはっきり
- ・ ビジョントレーニング
- ・ 図やイラストの書きうつし
- ・ 方法を選べるようにする (全体)

研修会 報告2

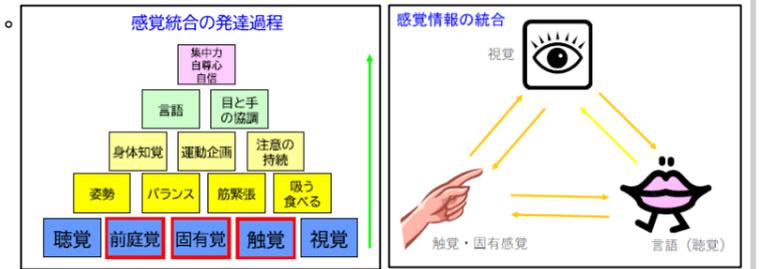
全体研修会「子どもたちを理解するための感覚統合的視点」

8月23日に本校にて全体研修会として、広島大学大学院医系科学研究科講師 石附智奈美先生をお招きし、「子どもたちを理解するための感覚統合的視点」というテーマで御講演をいただきました。今回はリモートでの研修での実施であり、本校の教職員と広島市内の小中学校の先生方とで200名ほどの参加がありました。研修では、感覚統合の基礎理論と行動の解釈の仕方について演習を交えて分かりやすく説明いただきました。

まず感覚統合とは、環境の中で自分の身体を適応させるための感覚情報処理過程であることや、五つの感覚(視覚、聴覚、触覚、固有覚、前庭覚)が成長に伴い、発達・統合をしていくことを説明いただきました。感覚統合の発達段階として、第1段階(0~2歳:感覚刺激が十分に感覚受容器に送られることが大切)、第2段階(2~4歳:前庭覚、固有覚、触覚の三つの感覚が統合され、身体を使って能動的に物の操作をする)、第3段階(4~6歳:五つの感覚が統合され、知覚や認知能力の発達が進み、挑戦したくなるような環境設定が大切)、第4段階(小学1年生以降:統合された五つの感覚が集中力や自尊心、自己抑制、学習能力などに深まる時期)に区分されています。そのため根本となる五つの感覚の受容に偏りがある場合、以降の発達にも偏りが生じることがあるようです。反応様式として、過反応(感覚過敏や感覚回避とも言い、赤ちゃんの泣き声を嫌う、特定の感覚の服しか着ないなど)、低登録(呼んでも振り向かない、触れられても反応がないなど)、感覚探求(いろいろなものを噛む、繰り返し叩くなど)が見られます。JSI-Rなどアセスメントの手法についても教えていただきました。最後には、五つの感覚の過敏な場合と鈍感な場合とで、どのような具体的支援が有効かを説明していただきました。

一方演習では、触覚過敏の不快感として、2人1組になり、目を閉じた相手に対し、もう一人が合図なしに腕に触れる活動を行いました。参加者の先生からは、「触られた瞬間びっくりした。」「いつ触られるか不安だった。」など感想が聞かれました。

今回の研修を経て、多様な行動パターンをもつ子どもたちに対し、その解釈の仕方の一つとして感覚統合があることを学ぶことができました。この研修を生かし、これからの子ども達への指導のさらなる充実を図っていきたいと思います。



相談会 報告

教育相談会

夏季休業中(8月3日~5日)に、本校教員が相談支援者となり、市内小学校、中学校の児童生徒の指導や支援、実態理解やアセスメントなどについて、オンラインで相談支援を行いました。

参加していただいた先生方からは、「具体的に指導の仕方や書籍を、資料を示しながら教えていただき、とても参考になった。」「自分の実践を振り返る良い機会になり、ありがたかった。」「初めて特別支援学級の担任をして、毎日が勉強だったが、今後の取組の参考になった。」などの感想がありました。



GIGA School iPad



「Keynote」を使った取組 ~Aさんと一緒に作った気持ちを伝える教材~

中学部生徒 Aさん



疲れや眠気、注目してほしい、嫌な活動等の場面で、自分の思いを言葉で伝えることが難しく、その場に座り込んだり、寝転んだりしていました。気持ちの絵カードを提示して選択できるようにしましたが、絵カードに注目せず、気持ちの切り替えに時間が掛かっていました。

Aさんはタブレット端末やパソコンに興味があり、毎朝、教室のパソコンを使って朝の会のスライド画像を準備したり、音量の調整をしたりしていました。

そこで、興味を持っているタブレット端末の「Keynote」を用いて、気持ちを伝える教材をAさんと一緒に作成しました。その際、気持ちに合ったイラストをAさんと一緒に探したり、選択したイラストが大きく表示されて、分かりやすい提示となるように工夫をしたりしました。加えて、イラストにAさんの声で、イラストに合った気持ちの言葉を録音しました。座り込み、動くことができなくなった際に、一緒に作成をした Keynote の教材を用いて気持ちを聞き出すことに取り組みました。

Aさんが選んだイラスト



選択したイラストが大きく表示される

自分の声で「ねむたい」と音声が出る



他にも...



興味のあるタブレット端末という点に加えて、「自分で作成をした教材」ということで、タブレットを提示すると、イラストを押して自分の気持ちを伝えることができるようになりました。さらに、座り込んだ際に「タブレットをください。」と教師に伝え、自分から使おうとする姿が見られました。

最近では、タブレット端末を使用せずに、口頭でのやり取りで気持ちを伝えることが増えてきています。



「教室マルトリートメント」

川上 康則 著

東洋館出版社

「教室マルトリートメント」、あまり聞きなれない言葉ですが、これは筆者川上康則さんの造語です。川上康則さんは、東京都立矢口特別支援学校主任教諭として勤められ、公認心理師・臨床発達心理士・特別支援教育士スーパーバイザーの資格も持っておられる特別支援教育のスペシャリストの先生ですが、教室の中で「温かくやわらかな風」を常に生徒の側に向けられている先生の愛情が行間にあふれています。

マルトリートメントとは、マル=悪い、トリートメント=扱いて、「不適切な養育」「避けたいかわり方」の意です。「教室マルトリートメント」とは、体罰やハラスメントのような違法行為ではないけれど、日常的に教室内で行われる指導の中でよく見かけがちで、子どもたちの心を知らず知らずのうちに傷つけているような「適切ではない指導」を指しています。

本書の目的として述べられているのは、「今、教室で行われている指導の一つ一つ、あるいは職員室内で繰り返されている会話の一つ一つが『これはもしかしたら、マルトリートメントにあたるかもしれない』という客観的な視点につながって、子どもたちの前で笑顔と穏やかな気持ちを絶やさない教師を増やすこと」です。そのためには、「子どもを変える」のではなく「教師が自身のあり方を見つめ直す」ことが優先課題である、とあります。

子どもはみんな「金平糖」のように多少なりとも凸凹があるものです。その凸凹は正すものではなく、「新しく発見したプラス面で余白や伸びしろを埋めていく」という発想をもちながら、子どもの育ちにかかわる姿勢が求められます。しかし、学校では大人の考える「枠」に無理に押し込もうとすることや、「型」に強引に当てはめようとするのではないのでしょうか。「この『枠』や『型』を取り除き、教師自身が指導観を見つめ直し、誤りがあればそれを積極的に覆す勇気をもつことが、教室マルトリートメントを予防する一つの方法」だと書かれています。そのためには、子ども理解の「守備範囲」を広げ続けることが重要です。「この『守備範囲』が広くなれば、子どものちょっとした成長に気付いてうれしくなったり、対応できないときは自分を磨き直すチャンスと捉えたりすることができ、見方が変わるとその子の価値は大きく変わる」と述べられています。特に、学級の中に発達のつまずきのある子どもたちとつながろうするときは、教師自身の「枠」や「軸」を大きく広げなければ対応できません。

「柔軟さ」と「寛容さ」を備え、学級の子どものたちの実態やその日の様子に合わせて「自らを変えることのできる教師」。そんな「子どもたちと一緒に学び育つことを楽しめる人」でありたいものです。そして、教師が集まる職員室は「温かい空気感につつまれ、そこにポジティブでお互いを尊重し合う対話がある」「その日の子どもの素敵な姿がふんだんに語られる」空間にしたいと思います。「よい教師はことばを大切にする。」「よい教師は子どもと共に笑う。」本書は教育に悩むあなたに寄り添います。



研修案内



広島県情緒障害教育研究大会

「実践と講演のコラボ」が売りの「県情研」開催のお知らせです！
 期日：令和5年2月5日（日）9:00～14:40
 開催方法：「Zoom ミーティング」によるオンライン開催
 講演：「誰もが学べる教室に～学びのユニバーサルデザイン（UDL）」
 講師：ニューヨーク州認定スクールサイコロジスト バーンズ 亀山 静子 先生
 実践紹介：①「ICTを活用した支援～校内でできること～」←実践のアラカルト
 ②「高校入試につなぐ合理的配慮～中学校の取組と課題を考える～」
 広島市立中広中学校 通級指導教室（情緒障害） 向井 浩之 先生

申込は <https://kenjoken-hiroshima2022.peatix.com>

申し込み締切：令和5年1月22日（日）

QRコードからも申し込めます

